

2026 年度海外学会等への派遣者の募集

学術交流委員会

応用生態工学会学術交流委員会では、2026 年度の海外学会等への派遣者 1-2 名を募集します。募集要領の概略は以下のとおりです。詳細は、学会ホームページをご確認のうえ、事務局まで申し込みください。

海外学会等への派遣者募集要領

1. 目的

自然環境と開発の問題については、我が国だけに限らず多くの国々で関心が持たれ、様々な研究と実践的な試みが行われてきている。応用生態工学を発展させるためには、こうした海外での活動に積極的に係わり参加することによって、情報を得ながら、人的交流を図ることが求められている。

応用生態工学会では、会員から希望者を募り、「派遣研究員」を審査選考して、当該年度（2026 年 4 月～2027 年 3 月）に海外で開催される応用生態工学に関連する学会・シンポジウム・国際会議等に派遣し、派遣者にその内容を報告してもらう。

なお、国際学会・シンポジウム・会議においては、オンライン開催（ウェビナー開催）が定着しつつあるため、ウェビナー開催への参加費に関しても助成対象とする。

2. 選考

1) 資格

- 応用生態工学会の正・学生会員であること（募集開始時点で会員でなくても、会員となることを条件として応募可能とする）
- 学生あるいは 35 歳以下（応募時）の研究者・技術者

2) 派遣研究員の選考

- 助成総額を最大 40 万円として 1-2 名を選考する（助成額は開催地等を踏まえて決定）。
- 学術交流委員会において書類審査によって候補者を選定し、幹事会および理事会に選考の経緯および結果を報告する。

3) 選考基準

- 派遣対象となる会議のテーマと本人の研究バックグラウンドの整合性
- 派遣対象となる会議で学ぼうとする内容、その焦点の明確さ
- 国際会議に出席して内容を把握できる能力
- 応用生態工学への関心の度合い
- 応用生態工学会での活動・参加状況・受賞歴
- 派遣に関連する研究業績や業務実績

4) 派遣後の要件・手続き等

- 派遣研究員は、海外渡航の成果を指定の様式を用いて報告するものとする（報告内容は本学会のニューズレターおよび会誌-応用生態工学の「トピックス」に掲載する）。
- 派遣終了後は、助成額の使途（使用費目と金額）について、決算報告を行うものとする。学会での使用金額が助成額を上回った場合、超えた分も含めて報告する。使用金額が助成額を超えなかった場合、余剰金を応用生態工学会に返金するものとする。
- 何らかの理由により海外渡航・学会参加を中止する事態が生じた場合、すみやかに応用生態工

学会事務局にその理由等を報告するものとする。

- 学会参加に関連した内容の研究や技術開発について、会誌-応用生態工学もしくは英文誌-Landscape and Ecological Engineering への論文投稿が推奨される。

3. 申請書

派遣希望者は、1) 会員番号, 2) 氏名, 3) 所属, 4) 連絡先 (住所・TEL・E-mail), 5) 年齢, 6) 専門分野, 7) 希望派遣学会等 (開催会議等の名称, 主催者名, 開催月日, 開催国・地名, 会議等の目的・内容, 現地見学会の有無と内容, 参加申し込み期限, 参加費, 研究発表の有無 (発表形式), 大会案内がある場合はそのコピー, 8) 必要経費の概算・内訳, 9) 派遣希望理由 (上記選考基準 6 項目) を, A4 用紙計 2 枚以内 (書式自由) にまとめ, 応用生態工学会事務局 (E-mail: eces-manager@ecesj.com) に送付。

※申請書は日本語あるいは英語。4 月以降に所属が変わる場合は, 変更後の連絡先も付記。

4. 申込締切

2026 年 3 月 31 日 (火)

※メール送信後, 事務局から申請書受付の返信メールを確認すること

5. 派遣決定時期

2026 年 4 月下旬に決定

6. 派遣を推奨する国際学会およびシンポジウム

- International Consortium of Landscape and Ecological Engineering (ICLEE)
- Annual Meeting of Society for Freshwater Science (SFS)
- American Geophysical Union (AGU)
- Association for the Science of Limnology and Oceanography (ASLO)
- European Geosciences Union (EGU)
- International Society for Ecological Modelling (ISEM)
- International Society for River Science (ISRS)
- International Water Association (IWA)

上記以外の国際学会やシンポジウムも応募可能